

訓練コース番号：5-07-02-001-03-0042
求職者支援訓練



受講生募集中！
訓練対象者の条件：特になし

**受講料
無料**

基礎コース

はじめての事務科

Word Excel

文書処理技能認定試験

表計算処理技能認定試験

PowerPoint

プレゼンテーション技能認定試験

全国経理教育協会主催

**計算実務能力検定
電卓計算能力検定**

想像してみてください！

スキルを身に着けた

未来の自分！

定員 10 名

お申込み・お問い合わせは
お早めに！

応募期間
2025年 **5月22日** (木)～

2025年 **6月16日** (月)まで

選考日 2025年6月20日(金) 16時「面接のみ」

結果通知日 2025年6月25日(水)

訓練期間：2025年7月9日(水)
～2025年11月7日(金)

訓練時間：午前9時10分～午後3時50分
(ホームルームを午前9時～9時5分、午後3時50分～3時55分に行います)
授業スケジュールにより日によって、3・4・5・6 各時限授業になります
スケジュール表でご確認ください

感染症の感染防止対策(可能な限り間隔を空けた座席レイアウト、消毒液の設置、手洗いの励行等)に取り組んでいます。



**専修学校
青森ビジネス専門学校**

〒038-0011 青森市篠田3-1-14
017-766-0665 担当：有馬 青森駅西口徒歩 8 分

申込人数が多い場合は、定員を増やすことがあります。

駐車場は16台有りますが、要問合せ



自己負担額：●テキスト代 約 16,500 円(税込) ●検定料 各資格 4,200 円～6,600 円(税込)(任意受験)

訓練対象者の条件		特になし											
訓練推奨者 (特定の者を想定する場合のみ)		新規学校卒業者	ニート等の若者			障害者	母子家庭の母等						
		被災者	外国人			その他	()						
訓練目標 (仕上がり像)		職業能力の基礎となるコミュニケーション力やビジネスマナーを身に付け、事務に必要な事務用ソフトウェアを用いて基礎的なビジネス文書等の作成が出来る。											
訓練修了後に取得 できる資格		名称 (計算実務能力検定2級	)			認定機関 (全国経理教育協会	)			✓	任意受験		
		名称 (電卓計算能力検定2級	)			認定機関 (全国経理教育協会	)			✓	任意受験		
		名称 (Word文書処理技能認定試験3級	)			認定機関 (サーティファイ	)			✓	任意受験		
		名称 (Excel表計算技能認定試験3級	)			認定機関 (サーティファイ	)			✓	任意受験		
		名称 (PowerPointプレゼンテーション能力認定試験初級	)			認定機関 (サーティファイ	)			✓	任意受験		
① IT分野の訓練における基本奨励金の特例措置(IT特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)													
② WEBデザインの訓練における基本奨励金の特例措置(WEB特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)													
③ DX推進スキル標準対応の訓練における基本奨励金の特例措置(DSS特例)の適用に係る希望の有無(適用を希望する場合のみ「○」を記入)													
訓練概要		職業能力の基礎となるコミュニケーション力やビジネスマナー、商業実務、ワープロソフト、表計算ソフトの使用法及びビジネス文書等の作成に関する知識・技能を身に付ける。 授業スケジュールにより日によって5・6各時限授業になります。コース案内をご覧ください。											
		科目		科目の内容							訓練時間		
職業能力 開発講習	ビジネス テクニ ック	①家計管理とライフプラン	家計管理、収入と支出のバランス管理、公的支援制度・窓口							2時間			
		①社会保険・年金	知っておきたい社会保険(公的医療保険、労働者災害補償保険、雇用保険、国民年金、厚生年金、企業年金)、マイナンバー概要							2時間			
		②ビジネスマナー	仕事に対する心構え、ビジネスマナー(第一印象、挨拶、表情、身だしなみ、名刺交換、態度、言葉遣い)、安心感を与える立ち位置、電話応対、来客応対の向上							12時間			
		パソコン操作	パソコンの起動・終了、キーボード操作、日本語入力、Webブラウザの操作、電子メールの操作							15時間			
		③職業倫理	ハラスメント、個人情報の取り扱い、SNS利用の注意点、働く人を守る労働法							3時間			
	就業活動 計画	④健康管理	生活リズムと健康を整える、働く人の健康管理、心の管理、ストレスコントロール(ストレスの対策、回避方法)、感情のコントロール							6時間			
		⑤コミュニケーション(聞き方や話し方)	自己概念、好き・嫌い(価値観)、思い込みや先入観への気づき、聴き方(傾聴力)、話し方(自分も相手も大切にする表現、世代間コミュニケーション)の向上							6時間			
		⑥職場のコミュニケーション	職場における報告、連絡、相談、論理的な思考による適切な伝え方の向上							6時間			
		⑦キャリア・プランを踏まえた就職活動の進め方	就職活動の全体、キャリア形成と就職対策の関連、就職活動を進めるにあたっての心構え							3時間			
		⑧求人動向	訓練内容に関連した求人動向・産業界の近況とポイント							6時間			
	職業生活 設計	⑨応募書類	応募書類を作成する意義、履歴書・職務経歴書のポイント、志望動機・自己PRの重要性、送付の際の留意点							3時間			
		⑩面接対策	面接の目的と採用者の評価ポイント、面接の準備とマナー							3時間			
		⑪求人情報等の収集	求人票の見方・ポイント、求人票の検索・収集、企業情報収集、情報収集の習慣化							3時間			
		⑫訓練受講の動機、今後の目標と習得すべき能力	就職に向けた訓練受講の意義、働く力を高めるスキル(専門能力以外)の必要性、今後の目標と習得すべき能力							3時間			
		⑬自己理解	自分の特徴などを見つめなおす就業経験の棚卸し、自分の強み(自分の市場価値の見極め、加齢による気づき)、興味関心、価値観の振り返り							9時間			
学 科	⑭仕事理解	関連職種・希望職種に求められるスキル、勤労観							6時間				
	⑮職業意識	働く意義、仕事に対する姿勢(職業意識の棚卸、労働環境の変化に対する受容、問題意識の共有、同年代における情報共有)							6時間				
	⑯職業生活設計	職業生活の振り返りと今後、新ジョブカード制度の概要・目標設定の作成							6時間				
	安全衛生	安全衛生の必要性、情報機器作業の留意点(適した作業環境、点検・清掃・改善措置の方法)							2時間				
実 技	就職支援	ジョブカード作成、面接の留意点							2時間				
	商業実務概論	帳簿の基礎、伝票の集計、現金出納帳、試算表、商品有高帳、伝票の起票、電卓の基本操作							70時間				
	商業実務演習	貨幣換算、度量衡および諸等数の計算、商品売買の計算							45時間				
	ワープロソフト実習	文書の書式設定、票の作成、文字の書式設定、段落の書式設定、印刷形式の設定、ファイル操作・管理、社内連絡文書、社外連絡文書、掲示ポスターの作成(使用ソフト: Office365)							60時間				
企業実習	表計算ソフト実習	ワークシートへの入力、ワークシートの設定、ワークシートの編集、ブック管理、社員名簿・取引先名簿の作成、売上金額の月ごとの作成と分析表の作成(使用ソフト: Office365)							60時間				
	プレゼンテーションソフト実習	プレゼン資料の作成(使用ソフト: office365)							55時間				
	企業実習	✓	実施しない		実施する	※実施する場合、カリキュラムは別途作成し、総時間のみ記入してください。							
	職場見学、職場体験、職業人講話	【職業人講話】 11/4①「会社の組織・働くことの意義」(キャリアコンサルタント)								2時間			
	【職業人講話】 11/5②「簿記事務員の役割」(キャリアコンサルタント)								2時間				
	【職業人講話】 11/6③「税について」(青森ビジネス専門学校)								2時間				
訓練時間総合計		400時間	職業能力開発講習	100時間	ビジネステクニック	40時間	ビジネスヒューマン	12時間					
			就業活動計画	18時間	職業生活設計	30時間	職場見学等	0時間					
受講者の負担する費用		学科	74時間	実技	220時間	企業実習	0時間	職場見学等	6時間				
		教科書代						16,500円	合計	16,500円			
		その他 ()											
指導方法		訓練形態(個別指導・補講を除く)	✓	全ての受講者を一堂に集め、講師が直接指導する									
		施設設備や教材等を有効に活用した効果的な指導のための工夫	プロジェクターを使った指導、グループディスカッションによる意見交換										
		受講者ごとの特質及び習得状況に応じた指導のための工夫	パソコンを使つての各人の習得状況分析と情報を蓄積し、各人の進捗に合わせて指導に活かす										